

## 研修プログラムⅠ（案）

○研修時間：90分（時間配分はあくまでも目安である。）

○対象：特別支援教育に携わる教職員

時間配分	内容	準備するもの（配慮等）
15分	<b>講義「インクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮の提供について」</b> （インクルーシブ教育システムとは、関連法令、多様な学びの場、合理的配慮、基礎的環境整備等の基本的事項の内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義資料例（資料1）</li> </ul>
70分 (5分)	<b>演習「インクルDBを活用した事例検討」</b> ① <u>合理的配慮を考えるための演習課題（インクルDB掲載事例）（資料2）及び演習シート（資料3）の配布と演習の説明する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合理的配慮を考えるための演習課題（資料2）</li> <li>※インクルDBの実践事例Ⅰに掲載されている事例の中から、「4.対象児童生徒等への合理的配慮の実際」及び「5.取組の成果と課題」を除いたものを用意（事例PDFからカット＆ペーストすると良い。）し、配布する。</li> <li>演習シート（資料3）</li> </ul>
(10分)	② （受講者が各自）合理的配慮を考えるための事例を読み、演習シートの「困難さの状況（事例の抱える困難）」と「合理的配慮の実際（観点と取組の内容）」欄を記入してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて以下の準備をする。</li> <li>資料3の拡大版</li> <li>付箋</li> <li>ホワイトボード</li> <li>模造紙</li> <li>マジック</li> </ul>
(25分)	③ 6～8名のグループに分かれて、各自が考えた本事例における「困難さの状況」と「合理的配慮の実際」について協議し、各グループで本事例における合理的配慮の提供についてアイデアや意見をまとめてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて以下の準備をする。</li> <li>資料3の拡大版</li> <li>付箋</li> <li>ホワイトボード</li> <li>模造紙</li> <li>マジック</li> </ul>
(15分)	④ 各グループで考えた本事例における合理的配慮の提供について発表してもらう。	※発表に当たっては、なぜ本事例についてそのような合理的配慮の提供が必要であると考えたのかを説明してもらう。また、各グループの発表に関して可能ならば質問時間が取れると良い。
(5分)	⑤ <u>インクルDB掲載事例の配布とその中に記載されている本事例における合理的配慮の提供について説明する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2の演習課題について実際にインクルDBで掲載している事例（資料4）</li> <li>※インクルDBの実践事例データベースⅠからPDFを印刷して配布する。</li> </ul>
(5分)	⑥ （受講者に）演習シートの「まとめと感想」欄に記入してもらう。	※合理的配慮の提供例であることを確認する。
(5分)	<b>まとめ</b> 一人一人の困難さを抱えている子ども達に対するより良い配慮については、関係する職員で協議・検討しながら提供していくこと等、研修のまとめをする。	